

平成28年度国立市総合防災訓練実施結果

実施日時 平成28年8月28日（日） 午前8時45分～11時00分

訓練会場 矢川上公園
※下谷保町内会実施の訓練は、雨天のため中止

参加者数 関係機関：242名 市民：192名
合計 434名

訓練内容

- ①初期消火
- ②煙体験
- ③消防署展示ブース（住宅用火災警報器、家具転倒防止器具）
- ④起震車体験
- ⑤応急救護訓練（三角巾・AED）
- ⑥炊き出し訓練
- ⑦救助活動体験訓練
- ⑧広報訓練
- ⑨車いす体験
- ⑩情報伝達訓練
- ⑪倒壊家屋からの救助活動演習
- ⑫はしご車搭乗体験
- ⑬災害用伝言ダイヤル（171）体験
- ⑭マイコンメーター復旧方法体験
- ⑮陸上自衛隊災害活動車両等の展示
- ⑯災害時給水拠点、応急給水広報
- ⑰警察署によるロープ結索指導
- ⑱業者による防災グッズ展示広報

総括

- ・今回の総合防災訓練では、①市民及び市職員の防災行動力の向上、②関係機関や協定締結団体との連携体制の強化の2点を目的とした。
- ・①市民及び市職員の防災行動力の向上について、体験型訓練及び各種展示ブースを14か所設け、災害発生時の行動と事前対策を学んだ。平成28年度は、熊本地震の教訓として、タンスなどの家具の下敷きになった人の救助を体験する訓練を消防署・自主防災組織が中心となり実施した。また、要配慮者への訓練として車いす訓練を実施した。訓練の指導は、国立市しょうがいしゃ団体等連絡協議会が中心となり、実際に介助をしている方が指導を行うことにより実践的な体験となった。市の職員については防災行動力向上のため、参集職員のほか、新入職員及び関係課職員の参加を呼び掛け、広報訓練や各種訓練の体験を実施した。

- ②関係機関や協定締結団体との連携体制の強化については、平成27年度に災害応援協定を締結した秋田県北秋田市から3名の職員が訓練視察で訪れた。北秋田市職員とは訓練終了後意見交換を行い、今後も連携を図っていくこととした。また、山梨県韮崎市及びジェイコム多摩と情報伝達訓練を実施し、災害時の物資や人員派遣に関する要請方法、災害情報の伝達方法について再確認を行った。市内防災組織による救助活動演習を実施し、自主防災組織、東京消防庁災害時支援ボランティア、消防団による連携活動を行った。さらに、演習の最後に協定事業者であるシルバーハイツ谷保により搬送演習を実施した。これらの連携活動については平成29年度以降も実施継続が望ましく、新たな団体を加えさらなる拡充を図っていきたい。(医師会、薬剤師会による救護活動の演習・東京電力、東京ガスによるライフラインの復旧に係る演習等も検討されたい。)
- なお、事前広報は市報8/20号掲載のほか、市内小中学校児童へのチラシの配布、近隣自治会(富士見台三・四丁目、矢川北、四軒在家、久保、青柳地域)へのビラの配布、市HP、くにたちメール配信、Twitter、LINEの配信を行い、訓練当日も市職員により広報車による広報を実施した。訓練の受付は会場の南北にそれぞれ設置したが、会場が公園でどこからでも入れることから、受付に気づかない(しない)方も少なからずいたようである。(集計の参加者は434名であったが、炊き出しのアルファ米(600食)がほぼすべて配布できたため。)

以上